

# 兵庫県水産技術センターだより

## 貝毒情報 臨時 KD-30-29 号 (アカガイ)

平成 30 年 6 月 29 日発行

アカガイ(播磨灘)の臨時貝毒検査を 6 月 26 日～29 日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

### 【概況】

- ・貝毒検査(6/29)の結果、播磨灘で採取したアカガイからは麻痺性貝毒は検出されませんでした。ただし、国の定めた基準(3回連続規制値以下)を満たすまでの感度は、採取等の規制は継続中です。
- ・なお、プランクトンによる水生生物の毒化は、プランクトンを餌とする二枚貝やその捕食生物であるイシガニに起こることが知られています。二枚貝以外の貝類(アワビ・サザエ)、魚類やその他のカニは安心して食べていただけます。
- ・兵庫県では、安全性が確認されるまでの期間、アカガイを対象とした貝毒検査を継続実施します。調査結果がわかり次第、貝毒情報としてお知らせします。



### 【検査結果】

年月日(採水・採取)	H30. 6.26	
貝の種類	アカガイ	
漁獲海域	播磨灘	
貝類の毒化状況 [マウスユニット/g]	麻痺性貝毒	ND

※NDとは、検出限界(規制値)以下のことです。

### <規制の基準>

可食部の毒量が  
麻痺性貝毒:4マウスユニット/g  
下痢性貝毒:0.16mg オカダ酸当量/kg }を超えた場合

### <注意が必要なプランクトン密度>

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)  
アレキサンドリウム タマレンセ  
*Alexandrium tamarense* 5,000 個数/ℓ以上
- アレキサンドリウム カテナラ  
*Alexandrium catenella* 50,000 個数/ℓ以上
- ・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)  
ディノフィシス フォルティ  
*Dinophysis fortii* 50,000 個数/ℓ以上

※現時点では、貝毒原因プランクトンの出現は沈静化しています。

### 【今後の情報予定】

- ・7月2日の週にアサリ(大阪湾・紀伊水道)、アカガイ(播磨灘)の調査を予定しています。調査結果がまとまり次第「貝毒情報」としてお知らせします

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当:水産環境部 都倉・宮原)  
Tel: 078-941-8602 Fax: 078-941-8604 Homepage: <http://www.hyogo-suigi.jp/>